

左近山中だより

令和5年 12月 20日
横浜市立左近山中学校
校長 神林 康之
No.9

生徒手帳から生徒証へ

校長 神林康之

今年度を最後に、生徒手帳を廃止して、来年度から生徒証を「身分証明書」として発行します。

先日は、学校目標の見直し（＝新しい学校目標）について、お伝えしました。何でも「変えればよい」と思っているわけではありません。

ただ「このお金や労力は、かけなくてもよいな」というものを見直して、形を変えてみました。もう、手帳代金も、そのカバー代金も家庭から集めることは、なくなります。紙製の「生徒証」は無料で、一人ひとりの生徒に配付されます。

これまで生徒手帳の中に記載されていた内容は「左近山中ハンドブック」として、生徒も保護者もすぐに見られるようにします。

「生徒証」に印刷されたハンドブックQRコードを読み取れば、その内容が見られます。もう一人ひとりに配付するために印刷はしません。ただし、学校内には、紙に印刷したハンドブックを各学級の教室に1冊ずつ置いて、確認したいときに、すぐ見られるようにします。

ちなみに、記載内容は、「横浜市歌」「校歌」「学校教育目標」「生徒心得（生活の決まり）」「生徒会組織図」「生徒会会則」「生徒会役員選挙規定」「学校図書館の利用について」「日課表」「各種警報等の発表に伴う生徒の登校下校について」「部活動」です。

今まで生徒手帳にあった「メモ欄」「カレンダー」「住所欄」「学校家庭連絡欄」「時間割」「個人情報記入欄」はなくなります。

「学校家庭連絡欄」を学校や部活の欠席等の連絡に使っていた人は、電話やロイロ、保護者からのお手紙といった方法の中から、使いやすい方法で、伝えるようにしてください。

「生徒証」は身分証明書です。大切に保管し、必要に応じて持ち歩き、使います。毎日持ち歩いても構いませんが、無くさないでください。

これからも、よいものを大切にしながら、改善も考えていきます。2月号では、来年度の「総合的な学習の時間」と「日課表」等について、お話しします。よろしくお祈りします。



職業講話 ～職業を知って、自分を知る～

本校では、キャリア学習の一環で、実際に働いている方に来校していただき、その職業について様々なお話をしていただく、「職業講話」という行事があります。「仕事とはなんなのか」「どんなやりがいがあるのか」「なぜ働くのか」などを生徒たちが考えるきっかけづくりです。

本年度は、“F・マリノススポーツクラブ”さん、“専門学校横浜ミュージックスクール”さん、“株式会社コーエーテクモゲームス”さん、“パナソニック スポーツ株式会社 パナソニック女子陸上競技部”さん、“HAIR & MAKE EARTH 二俣川店”さん、“株式会社ポプラ社”さんに来ていただきました。

ご多用のところ、生徒のためにご来校いただいた講師の皆様、本当にありがとうございました。

1 学年 総合的な学習の時間 担当

職業体験～in キッザニア東京～

本校のキャリア学習の一環として、11月27日(月)にキッザニア東京へ職業体験学習に行ってきました。例年、2学年次の1月末に地域の事業所等のお力を借り、職業体験を実施してきましたが、近年は新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、事業所の安定した確保の困難が想定されることから体験活動を見合わせる状況が続いていました。キッザニアでの学習は昨年度から実施し、生徒たちも多くの職業に触れ、学校内ではできない充実した時間を過ごすことができました。職業体験を通して、職業の魅力や将来について考え、今後の進路選択へとつなげていきたいと考えています。また、地域の方々には、今後お力を借りる機会が出てくるかと思えます。その際は、ぜひ、温かいご協力をお願いいたします。

2 学年 総合的な学習の時間 担当

～ 安全に冬休みを過ごすために ～

冬休みは、一年間の生活や学習を振り返るとともに、新年を迎えて新たな希望や目標をもち、未来に向けた前向きな気持ちを育む絶好の機会です。一方で、慌ただしさの中、予期せぬ事件や事故に巻き込まれたりする場合があります。新年のスタートに向け安全な生活を過ごせるように、保護者の方は個人面談でお渡しした「冬休みの心得」と以下の点をお子様とこの機会によくお話してください。また、お子様に冬休みのしおりを配付します。ご家庭でも一緒に過ごし方を考えていただけたらと思います。



○外出の際は、行先や帰宅時間等をご家庭で確認するようにしてください。

○交通事故の防止に努めてください。停車中の車両の前後での横断や、いわゆる「ながらスマホ」等への注意喚起をお願いします。

○お金を持つことが多くなりやすい時期です。子ども同士での金品のやりとりは「金額を問わず行わないこと」をご家庭でもご確認ください。

○登下校に限らず校外生活においても「人通りの多い道をまわって、寄り道せずに帰る」を基本に、「何かあったら迷わず110番」の指導を徹底してください。

生徒指導専任